

放射能のゴミ

～どうしようもないヤッカイモ/～



2025年12月6日(土) 14:00~16:30

宝塚市立男女共同参画センター1AB(阪急・JR宝塚駅下車ソリオ2 4F)

お 話：末田 一秀さん (核のごみキャンペーン・はんげんぱつ新聞編集長)

参加費：300円 予約不要 当日参加歓迎



今年は人類が初めて核兵器を使用してから80年、来年はチェルノブイリ原発事故から40年・福島第一原発事故から15年となり、ここ数年は節目の時期です。度重なる核実験や原発事故で世界中が放射能で汚染されています。しかし、放射能被害はそれだけではないはず。溜まり続けている「放射能のゴミ」はどうなっているのでしょうか。

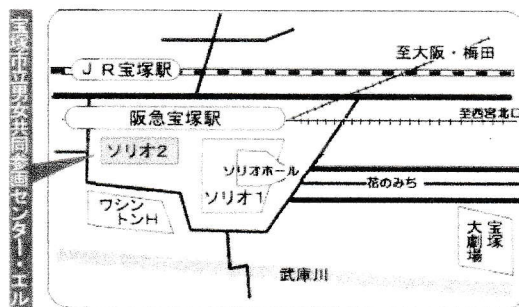
おりしも、NUMO(原子力環境整備機構)が廃棄物の処分について新聞やTVで宣伝を流しています。その中に、高レベル放射性廃棄物の処分について、「そのうちなんとかなるんじゃないの?」と言い、「将来のためにも、今から日本中で考えよう地層処分のこと」と結んでいます。驚くべき無責任! 呆れてものも言えません!

でも、「日本中で考えよう」というご提案なので、仰せの通り考えてみようと思います。「原子力発電の利用で発生する放射性廃棄物には、高レベル廃棄物だけでなく、他にも多くの放射能のゴミがあるのでは?」「福島第一原発事故由来の汚染水や汚染土は?」「廃炉原発のゴミの処理は?」「全~部まとめて日本にはどれくらいの放射性廃棄物があるの?」「放射性廃棄物って、実際のところ安全に処理することはできるの?」「今、廃棄処分について何がどれくらい進んでいるの?」「放射性廃棄物、最終的にはどこに持って行くの?」などなど放射能のゴミに関しては、疑問だらけ。

そう、そして、「そのうちなんとかなるんじゃないの?」って、「ホントになんとかなるのでしょうか?」

《核のごみキャンペーン》の末田さんに放射能のゴミについて徹底的に教えていただき、この厄介な放射能のゴミの問題をいっしょに考えましょう。

お誘い合わせてご参加ください!!



主催：原発の危険性を考える宝塚の会 問合せ：0797-74-6091 (たなか)